

026柿除第901号 幹線6号配水管撤去工事

数量計算書

数 量 総 括 表					
工 種 ・ 種 別	細 別	設計数量	積算数量	単位	備 考
管きょ工（一般開削部） 土工					
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下、全ての費用	728.98	730	m	
As濁水処分				m ³	
As濁水運搬				台	
舗装版破碎積込	0cm超え10cm以下、クローラ型山積0.13m ³ 、 排出ガス対策型（第2次基準値）	442.78	443	m ²	
As殻運搬	As塊・Co塊（無筋）、2t積、小型バックホウ山積0.13m ³ 、 DID有り、5.0km以下、良好、無	22.14	22	m ³	
As殻処分	越谷県土整備事務所、As廃材	52.03	52	t	
機械掘削	クローラ型山積0.13m ³ 、排ガス対策（第2次）	583.14	580	m ³	
発生土運搬・処分	土砂、2t車、BH0.13m ³ 、DID区間有り、 8.0km以下、良好、第4種建設発生土	583.14	580	m ³	
再生砂埋戻（W<4m）	再生砂（126m ³ /100m ³ ）、 BH0.13m ³ 、排ガス対策（第2次）	436.17	440	m ³	
下層路盤（W<1.8m） t=300mm	2層施工、幅1.8m未満、RC-40	244.06	244	m ²	
下層路盤（W<1.8m） t=120mm	1層施工、幅1.8m未満、RC-40	194.33	194	m ²	
上層路盤（W<1.8m） t=170mm	2層施工、幅1.8m未満、RM-40	244.06	244	m ²	
上層路盤（W<1.8m） t=120mm	1層施工、幅1.8m未満、RM-40	194.33	194	m ²	
表層（W<1.4m） t=30mm	W=1.4m未満、1層平均仕上厚30mm、 再生密粒度アスコン（13）、PK-3	244.06	244	m ²	
表層（W<1.4m） t=50mm	W=1.4m未満、1層平均仕上厚50mm、 再生密粒度アスコン（13）、PK-3	194.33	194	m ²	
管きょ工（一般開削部） 撤去工					
管切断				口	
管吊上積込	150mm、クレーン付トラック4t積2.9t吊、施工条件補正無	459.09	459.1	m	
コンクリート撤去処分（無筋）	機械施工、時間的制約無し、夜間作業無し、低騒音・低振動対策必要、 機械積込、DID区間有、1.6km以下、全ての費用	0.64	0.6	m ³	運搬・処分含む
コンクリート撤去処分（有筋）	機械施工、時間的制約無し、夜間作業無し、低騒音・低振動対策必要、 機械積込、DID区間有、1.6km以下、全ての費用	0.26	0.3	m ³	運搬・処分含む
現場発生品運搬	運搬：クレーン装置付4～4.5t積、吊能力2.9t、DID区間有、3.0km以下 積込：クレーン装置付4～4.5t積、吊能力2.9t	11.09	11.1	t	
管材処分費	撤去管φ150ほか スクラップへビーH1	11.09	11.1	t	
管帽設置	鋳鉄管布設メカニカル継手接合 150mm、離脱防止継手以外、普通押輪、無、無、無	5	5	口	材料（T形φ150）含む
管内充填工	φ150、充填工（その他工事）、管閉塞、エアミルク	0.18	0.2	m ³	
管内充填設備設置	充填設備据付撤去工（その他工事）	1	1	箇所	
管きょ工（一般開削部） 付帯工					
区画線設置 （白45cm実線）	夜間作業無し、ペイント式水性型、豪雪補正無し、実線15cm、 時間的制約無し、未使用区間無し、常温、白、全ての費用	6.1	6	m	（実線15cm×3）
区画線設置 （矢印・文字・記号1）	夜間作業無し、ペイント式水性型、豪雪補正無し、実線15cm、 時間的制約無し、未使用区間無し、常温、白、全ての費用	33.0	33	m	（実線15cm×3）
区画線設置 （矢印・文字・記号2）	夜間作業無し、ペイント式水性型、豪雪補正無し、実線15cm、 時間的制約無し、未使用区間無し、常温、白、全ての費用	49.5	50	m	
区画線設置 （矢印・文字・記号3）	夜間作業無し、ペイント式水性型、豪雪補正無し、実線15cm、 時間的制約無し、未使用区間無し、常温、黄、全ての費用	9.0	9	m	

数 量 総 括 表					
工 種 ・ 種 別	細 別	設計数量	積算数量	単位	備 考
指定仮設工 路面覆工					
覆工板設置撤去（受桁含む）	設置・撤去、標準	8.00	8	m ²	
基礎砕石工	砕石の厚さ17.5cmを超え20.0m以下、 再生クラッシャーラン40～0、全ての費用	4.18	4	m ²	
現場発生品運搬	運搬：クレーン装置付4～4.5t積、吊能力2.9t、DID区間有、3.0km以下 積込：クレーン装置付4～4.5t積、吊能力2.9t	0.507	0.507	t	
スクラップ	ヘビーH1	0.507	0.507	t	
覆工板賃料等	覆工板、覆工板受桁及び桁受の賃料 ずれ止めの費用	1	1	式	
任意仮設工 仮設工					
軽量鋼矢板建込・引抜 H=1.5m以下				m	
軽量鋼矢板建込・引抜 H=2.0m以下				m	
軽量鋼矢板賃料（第一区間） l=1.5m				t	
軽量鋼矢板賃料（第二区間） l=1.5m				t	
軽量鋼矢板賃料（第一区間） l=1.5m（管内充填部）				t	
軽量鋼矢板賃料（第一区間） l=2.0m				t	
軽量鋼矢板賃料（第二区間） l=2.0m（弁室部）				t	
軽量鋼矢板賃料（第一区間） l=2.5m				t	
軽量鋼矢板賃料 l=1.5m（試掘）				t	
支保材設置・撤去 1段（2.0m以下）				m	
支保材賃料	腹起し材、切梁材、水圧ポンプ	1	1	式	
横矢板設置・撤去				m ²	
ポンプ運転工				日	
ポンプ据付・撤去工				現場	
交通誘導警備員 交通誘導警備員					
交通誘導警備員B 昼間施工				人日	
共通仮設費（積分） 運搬費					
仮設材等の運搬				t	
仮設材等の積込み取卸し費				t	
共通仮設費（積分） 技術管理費					
土壌分析試験費	六価クロム溶出試験	1	1	検体	

1.

±

工

[illegible][illegible]

[illegible]

土工計算書(土工 第一区間)				
名 称	計 算 式			数 量 単位
既設管撤去 第一区間	土工延長 平均掘削深計算書(市道)より 余堀(BP1) 余堀(EP1) (254.90 + 0.5 + 0.5)			L 255.90 m
	掘削幅			W 掘削幅 0.90 m
	掘削深等			H D 平均掘削深 1.44 m 既設管径 0.17 m
	道路組成	路床	下層路盤	上層路盤 基層 表層
	(現況)	-	0.30	0.15 0.00 0.05
	道路組成	路床	下層路盤	上層路盤 基層 表層
	(既設管撤去後復旧)	再生砂	再生切込碎石	再生粒調碎石 再生密粒As
		-	0.30	0.17 0.00 0.03
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下、全ての費用			
	W L BP・EP 片側 充填箇所BP・EP $L = 0.90 \times \left(\frac{2}{2} + \frac{2}{2} \right) + 255.90 \times 1 = 259.50$			m 259.50 m
As濁水処分				
				m ³
舗装版破碎積込	0cm超え10cm以下、クローラ型山積0.13m ³ 、排出ガス対策型(第2次基準値)			
	W L $A = 0.90 \times 255.90 = 230.31$			m ² 230.31 m ²
As殻運搬	As塊・Co塊(無筋)、2t積、小型バックホウ山積0.13m ³ 、DID有り、5.0km以下、良好、無			
	舗装版破碎積込より 厚さ(表層) $V = 230.31 \times 0.05 = 11.52$			m ³ 11.52 m ³
As殻処分	越谷県土整備事務所、As廃材			
	As廃材(区分:越谷県土)			
	$W = 11.52 \times 2.35 = 27.07$			t 27.07 t

土工計算書(土工 第一区間)			
名 称	計 算 式	数 量	単位
機械掘削	クローラ型山積0.13m ³ 、排ガス対策(第2次)		
	$V = \frac{W}{D} \times \frac{L}{L(\text{撤去延長})} \times \frac{H}{\text{舗装厚}} \times (1.44 - 0.05)$		
	$= \frac{0.90}{0.17} \times \frac{255.90}{\pi / 4} \times 254.90 = 314.35 \text{ m}^3$	314.35	m ³
発生土運搬・処分	土砂、2t車、BH0.13m ³ 、DID区間有り、8.0km以下、良好、第4種建設発生土		
	機械掘削より		
	$V = 314.35 = 314.35 \text{ m}^3$	314.35	m ³
再生砂埋戻(W<4m)	再生砂(126m ³ /100m ³)、BH0.13m ³ 、排ガス対策(第2次)		
	$V = \frac{W}{H} \times \frac{L}{\text{厚さ(下層路盤)} + \text{厚さ(上層路盤)} + \text{厚さ(表層)}} \times (1.44 - (0.30 + 0.17 + 0.03))$		
	$= \frac{0.90}{255.90} \times \frac{255.90}{216.49} \times 216.49 \text{ m}^3$	216.49	m ³
下層路盤(W<1.8m) t=300mm	2層施工、幅1.8m未満、RC-40		
	$A = \text{舗装版破碎積込と同じ} = 230.31 \text{ m}^2$	230.31	m ²
上層路盤(W<1.8m) t=170mm	2層施工、幅1.8m未満、RM-40		
	$A = \text{下層路盤(W<1.8m)t=300mmと同じ} = 230.31 \text{ m}^2$	230.31	m ²
表層(W<1.4m) t=30mm	W=1.4m未満、1層平均仕上厚30mm、再生密粒度アスコン(13)、PK-3		
	$A = \text{上層路盤(W<1.8m)t=170mmと同じ} = 230.31 \text{ m}^2$	230.31	m ²

土工計算書(土工 第二区間)				
名 称	計 算 式			数 量 単位
既設管撤去 第二区間	土工延長 平均掘削深計算書(市道)より 余堀(BP2) 余堀(EP2) $(203.92 + 0.5 + 0.5)$			L 204.92 m
	掘削幅			W 掘削幅 0.90 m
	掘削深等			H D 平均掘削深 1.36 m 既設管径 0.17 m
	道路組成	路床	下層路盤	上層路盤 基層 表層
	(現況)	-	0.12	0.12 0.00 0.05
	道路組成	路床	下層路盤	上層路盤 基層 表層
	(既設管撤去後復旧)	再生砂	再生切込碎石	再生粒調碎石 再生密粒As
	-	0.12	0.12	0.00 0.05
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下、全ての費用			
	W	L	(弁室部控除)	
	$L = 0.90 \times 2 + (204.92 - 1.50) \times 2$			両側 = 408.64 m
				408.64 m
As濁水処分				
				m ³
舗装版破碎積込	0cm超え10cm以下、クロー型山積0.13m ³ 、排出ガス対策型(第2次基準値)			
	W	L	(弁室部控除)	
	$A = 0.90 \times (204.92 - 1.50)$			= 183.08 m ²
				183.08 m ²
As殻運搬	As塊・Co塊(無筋)、2t積、小型バックホウ山積0.13m ³ 、DID有り、5.0km以下、良好、無			
	舗装版破碎積込より 厚さ(表層)			
	$V = 183.08 \times 0.05$			= 9.15 m ³
				9.15 m ³
As殻処分	越谷県土整備事務所、As廃材			
	As廃材(区分:越谷県土)			
	$W = 9.15 \times 2.35$			= 21.50 t
				21.50 t

土工計算書(土工 第二区間)			
名 称	計 算 式	数 量	単位
機械掘削	クローラ型山積0.13m ³ 、排ガス対策(第2次)		
	$V = \frac{W}{D} \times (L - 1.50) \times (H - 0.05)$ W L (弁室部控除) H 舗装厚 D L(撤去延長) (弁室部控除)		
	$= \frac{0.17}{1}^2 \times \pi / 4 \times (204.19 - 1.50) = 235.23 \text{ m}^3$	235.23	m ³
発生土運搬・処分	土砂、2t車、BH0.13m ³ 、DID区間有り、8.0km以下、良好、第4種建設発生土		
	機械掘削より $V = 235.23 = 235.23 \text{ m}^3$	235.23	m ³
再生砂埋戻(W<4m)	再生砂(126m ³ /100m ³)、BH0.13m ³ 、排ガス対策(第2次)		
	$V = \frac{W}{H} \times (L - 1.50)$ W L (弁室部控除) H 厚さ(下層路盤) 厚さ(上層路盤) 厚さ(表層)		
	$\times (1.36 - (0.12 + 0.12 + 0.05)) = 195.89 \text{ m}^3$	195.89	m ³
下層路盤(W<1.8m) t=120mm	1層施工、幅1.8m未満、RC-40		
	$A = \text{舗装版破碎積込と同じ} = 183.08 \text{ m}^2$	183.08	m ²
上層路盤(W<1.8m) t=120mm	1層施工、幅1.8m未満、RM-40		
	$A = \text{下層路盤(W<1.8m)t=120mmと同じ} = 183.08 \text{ m}^2$	183.08	m ²
表層(W<1.4m) t=50mm	W=1.4m未満、1層平均仕上厚50mm、再生密粒度アスコン(13)、PK-3		
	$A = \text{上層路盤(W<1.8m)t=120mmと同じ} = 183.08 \text{ m}^2$	183.08	m ²

土工計算書(土工 弁室部 第二区間)							数 量	単位
名 称	計 算 式							
弁室撤去 15幹6洗2(1か所) 第二区間	土工延長・掘削幅 L W							
	土工延長 1.50 m 掘削幅 1.50 m							
	掘削深等 H D							
	掘削深 1.70 m 既設管径 0.17 m							
	道路組成	路床	下層路盤	上層路盤	基層	表層		
	(現況)	-	0.12	0.12	0.00	0.05		
	道路組成	路床	下層路盤	上層路盤	基層	表層		
	(弁室撤去後復旧)	再生砂	再生切込碎石	再生粒調碎石	再生密粒As			
		-	0.12	0.12	0.00	0.05		
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下、全ての費用							
	W L							
	L= 0.50 × 4 + 1.50 × 2 = 5.00 m						5.00	m
As濁水処分								
								m ³
舗装版破碎積込	0cm超え10cm以下、クローラ型山積0.13m ³ 、排出ガス対策型(第2次基準値)							
	W L							
	A= 1.50 × 1.50							
	(鉄蓋控除)							
	-(0.60 × 0.60) = 1.89 m ²						1.89	m ²
As殻運搬	As塊・Co塊(無筋)、2t積、小型バックホウ山積0.13m ³ 、DID有り、5.0km以下、良好、無							
	舗装版破碎積込より 厚さ(表層)							
	V= 1.89 × 0.05 = 0.09 m ³						0.09	m ³
As殻処分	越谷県土整備事務所、As廃材							
	As廃材(区分:越谷県土)							
	W= 0.09 × 2.35 = 0.21 t						0.21	t

土工計算書(土工 弁室部 第二区間)			
名 称	計 算 式	数 量	単位
機械掘削	クローラ型山積0.13m ³ 、排ガス対策(第2次)		
	掘削量 $V = \frac{W}{2} \times \frac{L}{2} \times (H - \text{舗装厚}) = 3.71$		
	(控除)弁室部 外径 $\blacktriangle \left(\frac{\phi}{2} \times \frac{\pi}{4} \right)$		
	$\times (0.97 + (\text{舗装厚} - 0.05)) = -0.58$		
	(控除)防護コン $\blacktriangle \frac{H}{2} \times \frac{W}{2} \times L = -0.66$		
	(控除)既設配水管 $\blacktriangle \frac{D^2}{4} \times \pi \times \left(\frac{L(\text{撤去延長})}{2} - \text{防護コン控除部} \right) = -0.01$		
	掘削量 $V = 3.71 + \blacktriangle_{(控除)既設配水管} + \blacktriangle_{(控除)防護コン} + \blacktriangle_{(控除)既設配水管} = 2.46 \text{ m}^3$	2.46	m ³
発生土運搬・処分	土砂、2t車、BH0.13m ³ 、DID区間有り、8.0km以下、良好、第4種建設発生土		
	機械掘削より $V = 2.46 = 2.46 \text{ m}^3$	2.46	m ³
再生砂埋戻(W<4m)	再生砂(126m ³ /100m ³)、BH0.13m ³ 、排ガス対策(第2次)		
	$V = \frac{W}{2} \times \frac{L}{2} \times H$ 厚さ(下層路盤) 厚さ(上層路盤) 厚さ(表層)		
	$\times (1.70 - (0.12 + 0.12 + 0.05)) = 3.17 \text{ m}^3$	3.17	m ³
下層路盤(W<1.8m) t=120mm	1層施工、幅1.8m未満、RC-40		
	$A = \frac{W}{2} \times \frac{L}{2} = 2.25 \text{ m}^2$	2.25	m ²

土工計算書(土工 管内充填 第一区間)							数 量	単位
名 称	計 算 式							
管内充填 No.178+8.32 , No178+17.69 第一区間	延長・幅・掘削深 (覆工板範囲) (1か所あたり)	L 2.18 m	W 2.18 m	H 0.65 m				
	土工延長・掘削幅 (1か所あたり)	土工延長 1.50 m	掘削幅 1.50 m					
	掘削深等 No.178+8.32 掘削深	H 1.37 m	H No178+17.69 掘削深	D 既設管径				
	道路組成 (現況)	路床 -	下層路盤 0.30	上層路盤 0.15	基層 0.00	表層 0.05		
	道路組成 (弁室撤去後復旧)	路床 再生砂 -	下層路盤 再生切込碎石 0.30	上層路盤 再生粒調碎石 0.17	基層 0.00	表層 再生密粒As 0.03		
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下、全ての費用							
	W(覆工板範囲)	L(覆工板範囲)	箇所					
	L=((2.18 - 0.90)+ 2.18)× 2 × 2 = 13.84 m					13.84	m	
As濁水処分								
								m ³
舗装版破碎積込	0cm超え10cm以下、クローラ型山積0.13m3、排出ガス対策型(第2次基準値)							
	W(覆工板範囲)	L(覆工板範囲)	箇所					
	A= 2.18 × 2.18 × 2 = 9.50 m ²					9.50	m ²	
As殻運搬	As塊・Co塊(無筋)、2t積、小型バックホウ山積0.13m3、DID有り、5.0km以下、良好、無							
	舗装版破碎積込より 厚さ(表層)							
	V= 9.50 × 0.05 = 0.48 m ³					0.48	m ³	
As殻処分	越谷県土整備事務所、As廃材							
	As廃材(区分:越谷県土)							
	W= 0.48 × 2.35 = 1.13 t					1.13	t	

土工計算書(土工 管内充填 第一区間)			
名 称	計 算 式	数 量	単位
機械掘削	クローラ型山積0.13m ³ 、排ガス対策(第2次)		
	掘削量V1(No.178+8.32) $V1 = \frac{W}{2.18} \times \frac{L}{2.18} \times \left(\frac{H}{0.65} - \frac{\text{舗装厚}}{0.05} \right)$		
	$+ \frac{1.50}{2.18} \times \frac{1.50}{2.18} \times \left(\frac{1.37}{0.65} - \frac{0.65}{0.05} \right) = 4.47$		
	掘削量V2(No.178+17.69) $V2 = \frac{W}{2.18} \times \frac{L}{2.18} \times \left(\frac{H}{0.65} - \frac{\text{舗装厚}}{0.05} \right)$		
	$+ \frac{1.50}{2.18} \times \frac{1.50}{2.18} \times \left(\frac{1.38}{0.65} - \frac{0.65}{0.05} \right) = 4.49$		
	掘削量 V1 4.47 + 掘削量 V2 4.49 = 8.96 m ³	8.96	m ³
発生土運搬・処分	土砂、2t車、BH0.13m ³ 、DID区間有り、8.0km以下、良好、第4種建設発生土		
	機械掘削より V= 8.96 = 8.96 m ³	8.96	m ³
再生砂埋戻(W<4m)	再生砂(126m ³ /100m ³)、BH0.13m ³ 、排ガス対策(第2次)		
	埋戻量V1(No.178+8.32) $V1 = \frac{W}{2.18} \times \frac{L}{2.18}$		
	$\times \left(\frac{H}{0.65} - \left(\frac{\text{厚さ(下層路盤)}}{0.30} + \frac{\text{厚さ(上層路盤)}}{0.17} + \frac{\text{厚さ(表層)}}{0.03} \right) \right)$		
	$+ \frac{1.50}{2.18} \times \frac{1.50}{2.18} \times \left(\frac{1.37}{0.65} - \frac{0.65}{0.05} \right) = 2.33$		
	埋戻量V2(No.178+17.69) $V2 = \frac{W}{2.18} \times \frac{L}{2.18}$		
	$\times \left(\frac{H}{0.65} - \left(\frac{\text{厚さ(下層路盤)}}{0.30} + \frac{\text{厚さ(上層路盤)}}{0.17} + \frac{\text{厚さ(表層)}}{0.03} \right) \right)$		
	$+ \frac{1.50}{2.18} \times \frac{1.50}{2.18} \times \left(\frac{1.38}{0.65} - \frac{0.65}{0.05} \right) = 2.36$		
	埋戻量 V1 2.33 + 埋戻量 V2 2.36 = 4.69 m ³	4.69	m ³

土工計算書(土工 管内充填 第一区間)

[illegible]

土工計算書(土工 試掘 第一区間)											
名 称		計 算 式							数 量		単位
試掘 第一区間		N= 3 箇所									
		W L									
		掘削幅		2.00 m (①～③)		掘削延長		1.50 m (①～③)			
		H		H		H					
		土被り 1: 1.20m		2: 1.20m		3: 1.59m					
		道路組成		路床		下層路盤		上層路盤		基層	表層
		(現況)		-		-		-		0.00	0.05
		道路組成		路床		下層路盤		上層路盤		基層	表層
		(試掘後復旧)		再生砂		再生切込碎石		再生粒調碎石		再生密粒度As	
				-		0.30		0.17		0.00	0.03
舗装版切断		アスファルト舗装版、15cm以下、全ての費用									
		W 辺		L 辺		N					
		L=(2.00 × 2		+ 1.50 × 2)		× 3		= 21.00 m		21.00	m
As濁水処分											
											m³
舗装版破碎積込		0cm超え10cm以下、クローラ型山積0.13m3、排出ガス対策型(第2次基準値)									
		W L		N							
		A= 2.00 × 1.50 × 3						= 9.00 m²		9.00	m²
As殻運搬		As塊・Co塊(無筋)、2t積、小型バックホウ山積0.13m3、DID有り、5.0km以下、良好、無									
		舗装版破碎積込より 厚さ(表層)									
		V= 9.00		× 0.05				= 0.45 m³		0.45	m³
As殻処分		越谷県土整備事務所、As廃材									
		As廃材(区分:越谷県土)									
		0.45 × 2.35						= 1.06 t		1.06	t

土工計算書(土工 試掘 第一区間)							
名 称	計 算 式				数 量	単位	
機械掘削	クローラ型山積0.13m³、排ガス対策(第2次)						
	W	L	H	舗装厚			
①	V=(2.00 × 1.50 × (1.20 - 0.05) = 3.45 m³						
	W	L	H	舗装厚			
②	V=(2.00 × 1.50 × (1.20 - 0.05) = 3.45 m³						
	W	L	H	舗装厚			
③	V=(2.00 × 1.50 × (1.59 - 0.05) = 4.62 m³						
	計 = 11.52 m³				11.52	m³	
発生土運搬・処分	土砂、2t車、BH0.13m³、DID区間有り、8.0km以下、良好、第4種建設発生土						
	機械掘削より						
	V= 11.52 = 11.52 m³				11.52	m³	
再生砂埋戻(W<4m)	再生砂(126m³/100m³)、BH0.13m³、排ガス対策(第2次)						
	W	L					
①	V=(2.00 × 1.50						
	H	厚さ(下層路盤)	厚さ(上層路盤)	厚さ(表層)			
	× (1.20 - (0.30 + 0.17 + 0.03)) = 2.10 m³						
	W	L					
②	V=(2.00 × 1.50						
	H	厚さ(下層路盤)	厚さ(上層路盤)	厚さ(表層)			
	× (1.20 - (0.30 + 0.17 + 0.03)) = 2.10 m³						
	W	L					
③	V=(2.00 × 1.50						
	H	厚さ(下層路盤)	厚さ(上層路盤)	厚さ(表層)			
	× (1.59 - (0.30 + 0.17 + 0.03)) = 3.27 m³						
	計 = 7.47 m³				7.47	m³	

土工計算書(土工 試掘 第一区間)

[illegible]

土工計算書(土工 試掘 第二区間)									
名 称	計 算 式						数 量	単位	
試掘 第二区間	N= 3 箇所								
	W L								
	掘削幅	2.00	m (④～⑥)		掘削延長	1.50	m (④～⑥)		
	H H H								
	土被り	4: 1.29m	5: 1.20m	6: 1.20m					
	道路組成	路床	下層路盤	上層路盤	基層	表層			
	(現況)	-	-	-		0.00	0.05		
	道路組成	路床	下層路盤	上層路盤	基層	表層			
	(試掘後復旧)	再生砂	再生切込碎石	再生粒調碎石	再生密粒度As				
		-	0.12	0.12	0.00	0.05			
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下、全ての費用								
	W	辺		L	辺		N		
	L=(2.00 × 2 + 1.50 × 2)× 3 = 21.00 m								
							21.00	m	
As濁水処分									
								m ³	
舗装版破碎積込	0cm超え10cm以下、クローラ型山積0.13m3、排出ガス対策型(第2次基準値)								
	W	L		N					
	A= 2.00 × 1.50 × 3 = 9.00 m ²								
							9.00	m ²	
As殻運搬	As塊・Co塊(無筋)、2t積、小型バックホウ山積0.13m3、DID有り、5.0km以下、良好、無								
	舗装版破碎積込より 厚さ(表層)								
	V= 9.00 × 0.05 = 0.45 m ³								
							0.45	m ³	
As殻処分	越谷県土整備事務所、As廃材								
	As廃材(区分:越谷県土)								
	0.45 × 2.35 = 1.06 t								
							1.06	t	

土工計算書(土工 試掘 第二区間)								
名 称	計 算 式						数 量	単位
機械掘削	クローラ型山積0.13m3、排ガス対策(第2次)							
	W	L	H	舗装厚				
④	V=(	2.00	×	1.50	×	(1.29 - 0.05) = 3.72 m3		
	W	L	H	舗装厚				
⑤	V=(	2.00	×	1.50	×	(1.20 - 0.05) = 3.45 m3		
	W	L	H	舗装厚				
⑥	V=(	2.00	×	1.50	×	(1.20 - 0.05) = 3.45 m3		
	計 = 10.62 m³						10.62	m³
発生土運搬・処分	土砂、2t車、BH0.13m³、DID区間有り、8.0km以下、良好、第4種建設発生土							
	機械掘削より							
	V=	10.62				= 10.62 m³	10.62	m³
再生砂埋戻(W<4m)	再生砂(126m³/100m³)、BH0.13m³、排ガス対策(第2次)							
	W	L						
④	V=(	2.00	×	1.50				
	H	厚さ(下層路盤)		厚さ(上層路盤)	厚さ(表層)			
	×	(	1.29	-	(0.12 + 0.12 + 0.05) = 3.00 m³			
	W	L						
⑤	V=(	2.00	×	1.50				
	H	厚さ(下層路盤)		厚さ(上層路盤)	厚さ(表層)			
	×	(	1.20	-	(0.12 + 0.12 + 0.05) = 2.73 m³			
	W	L						
⑥	V=(	2.00	×	1.50				
	H	厚さ(下層路盤)		厚さ(上層路盤)	厚さ(表層)			
	×	(	1.20	-	(0.12 + 0.12 + 0.05) = 2.73 m³			
	計 = 8.46 m³						8.46	m³

土工計算書(土工 試掘 第二区間)

[illegible]

平均掘削深計算書（市道）

管外径 0.17 (m)

測点間隔 25.00 (m)

第一区間

既設管撤去部（立坑部を除く）

(No. 173+5.06 ~ No. 178+8.32 、 No. 178+17.69 ~ No. 183+19.33)

測 点	延長 (m)	地盤高 (m)	床高 (m)	土被り (m)	区間平均 土被り (m)	掘削深 (m)	延長× 掘削深 (m ²)	仮設
既設管撤去								
BP1								
No. 173 + 5.06		1.28	-0.14	1.25				l=1.5m
	4.01				1.25	1.42	5.69	支保工1段
No. 173 + 9.07		1.28	-0.14	1.25				l=1.5m
	15.93				1.24	1.41	22.46	支保工1段
No. 174		1.27	-0.12	1.22				l=1.5m
	25.00				1.21	1.38	34.50	支保工1段
No. 175		1.30	-0.07	1.20				l=1.5m
	25.00				1.20	1.37	34.25	支保工1段
No. 176		1.30	-0.07	1.20				l=1.5m
	25.00				1.20	1.37	34.25	支保工1段
No. 177		1.30	-0.07	1.20				l=1.5m
	25.00				1.20	1.37	34.25	支保工1段
No. 178		1.30	-0.07	1.20				l=1.5m
充填箇所1 BP1	8.32				1.20	1.37	11.40	支保工1段
No. 178 + 8.32		1.30	-0.07	1.20				
充填箇所1 EP1								
No. 178 + 17.69		1.30	-0.08	1.21				l=1.5m
	7.31				1.20	1.37	10.01	支保工1段
No. 179		1.31	-0.05	1.19				l=1.5m
	25.00				1.19	1.36	34.00	支保工1段
No. 180		1.33	-0.03	1.19				l=1.5m
	25.00				1.20	1.37	34.25	支保工1段
No. 181		1.34	-0.03	1.20				l=1.5m
	25.00				1.20	1.37	34.25	支保工1段
No. 182		1.36	-0.01	1.20				l=2.0m
	25.00				1.40	1.57	39.25	支保工1段
No. 183		1.82	0.06	1.59				l=2.5m
EP1	19.33				1.81	1.98	38.27	支保工1段
No. 183 + 19.33		2.58	0.38	2.03				
既設管撤去延長 (m)	254.90				合計	366.83	(m ²)	
土工延長 (m)	254.90				平均掘削深	1.44	(m)	

測点間隔 25.00 (m)

(No. 195+15, 96 $\sim$ No. 203+19, 88)

[illegible]

2. 撤 去 工

撤去工 数量総括表

[illegible]

撤去工計算書			
名 称	計 算 式	数 量	単位
管切断			
			口
管吊上積込	150mm、クレーン付トラック4t積2.9t吊、施工条件補正無		
	既設管撤去延長 第一区間 第二区間 $L = 254.90 + 204.19 = 459.09 \text{ m}$	459.09	m
コンクリート撤去処分(無筋)	運搬・処分含む 機械施工、時間的制約無し、夜間作業無し、低騒音・低振動対策必要、 機械積込、DID区間有、1.6km以下、全ての費用		
	15幹6洗2		
	下部コンクリート $V = \frac{H}{2} \times \frac{W}{2} \times L = 0.66$		
	(控除)既設配水管 $\blacktriangle \frac{D^2}{4} \times \frac{L}{2} = -0.02$		
	下部コンクリート (控除)既設配水管 $V = 0.66 + (-0.02) = 0.64 \text{ m}^3$	0.64	m ³
コンクリート撤去処分(有筋)	運搬・処分含む 機械施工、時間的制約無し、夜間作業無し、低騒音・低振動対策必要、 機械積込、DID区間有、1.6km以下、全ての費用		
	15幹6洗2		
	直壁 外径 内径 $V = \left(\frac{D^2}{4} \times \frac{L}{2} - \frac{d^2}{4} \times \frac{L}{2} \right)$		
	$\times 0.97 = 0.26 \text{ m}^3$	0.26	m ³

撤去工計算書			
名 称	計 算 式	数 量	単位
現場発生品運搬	撤去管 φ 150ほか 運搬:クレーン装置付4～4.5t積、吊能力2.9t、DID区間有、3.0km以下 積込:クレーン装置付4～4.5t積、吊能力2.9t		
	管材集計表より総重量 $11.094 = 11.09 \text{ t}$	11.09	t
管材処分費	撤去管 φ 150ほか スクラップ ヘビーH1		
	管材集計表より $11.094 = 11.09 \text{ t}$	11.09	t
管帽設置	材料(T形 φ 150)含む 鋳鉄管布設メカニカル継手接合 150mm、離脱防止継手以外、普通押輪、無、無、無		
	$\begin{array}{ccccccc} \text{BP1} & & \text{充填箇所 BP1} & & \text{充填箇所EP1} & & \text{EP1} \\ 1 & + & 1 & + & 1 & + & 1 \end{array}$		
	$+ \text{BP2} = 5 \text{ 口}$ $+ 1$	5	口
管内充填工	φ 150、充填工(その他工事)、管閉塞、エアミルク		
	充填区間 (充填延長) 充填箇所 BP1 充填箇所 EP1 $\text{No. 178} + 8.32 \sim \text{No. 178} + 17.69$		
	伏せ越し部延長 $1.00 + 0.13 + 1.20$		
	$+ 5.41 + 1.20 + 0.13$		
	$+ 1.00 = 10.07 \text{ m}$ $\text{D} \quad \text{L}$		
	充填量 $V = 0.15^2 \times \pi / 4 \times 10.07 = 0.18 \text{ m}^3$	0.18	m ³
管内充填設備設置	充填設備据付撤去工(その他工事)		
	充填箇所 BP1 $1 = 1 \text{ 箇所}$	1	箇所

[illegible]

3. 付 帯 工

[illegible][illegible]

4. 路 面 覆 工

路面覆工 数量総括表

[illegible][illegible]

路面覆工計算書			
名 称	計 算 式	数 量	単位
路面覆工 充填発進坑・到達坑			
覆工板設置撤去(受桁含む)	覆工板・覆工板受桁設置・撤去(覆工板設置面積700m2以下) 設置・撤去、標準		
	枚 箇所		
	覆工面積 $1.00 \times 2.00 \times 2 \times 2 = 8.00 \text{ m}^2$	8.00	m ²
	覆工板規格 1000×2000×200 重量/m2 = 0.220 t/m2 重量 = $8.00 \times 0.220 = 1.760 \text{ t}$		
	H-250×250×9×14 t/m 箇所 両側 (土単p130) $2.18 \times 2 \times 0.0718 \times 2 = 0.626 \text{ t}$		
	ずれ止め(溝形鋼) 設置m t/m (KB7p34,SS7p30) 重量 ($2.18 + 2.00$) × 4 × 0.0303 = 0.507 t		
	受桁 ずれ止め		
	重量合計 $0.626 + 0.507 = 1.133$		
	受桁		
	運搬重量合計 = 0.626 t		
基礎砕石工	砕石の厚さ17.5cmを超え20.0m以下、 再生クラッシュヤン40～0、全ての費用		
	W L 両側 N $0.25 \times (2.18 + 2.00) \times 2 \times 2 = 4.18 \text{ m}^2$	4.18	m ²
現場発生品運搬	現場発生品及び支給品運搬 運搬:クレーン装置付4～4.5t積、吊能力2.9t、DID区間有、3.0km以下 積込:クレーン装置付4～4.5t積、吊能力2.9t		
	ずれ止め 0.507 t	0.507	t
スクラップ	ヘビーH1		
	ずれ止め 0.507 t	0.507	t

路面覆工計算書

[illegible]

5. 仮 設 工

仮設工 数量総括表

[illegible]

仮設工計算書			
名 称	計 算 式	数 量	単位
土留工			
軽量鋼矢板建込・引抜 H=1.5m以下			
			m
軽量鋼矢板建込・引抜 H=2.0m以下			
			m
軽量鋼矢板賃料(第一区間) l=1.5m			
			t

仮設工計算書			
名 称	計 算 式	数 量	単位
軽量鋼矢板賃料(第二区間) l=1.5m			
			t
軽量鋼矢板賃料(第一区間) l=1.5m(管内充填部)			
			t
軽量鋼矢板賃料(第一区間) l=2.0m			
			t
軽量鋼矢板賃料(第二区間) l=2.0m(弁室部)			
			t
軽量鋼矢板賃料(第一区間) l=2.5m			
			t
軽量鋼矢板賃料 l=1.5m(試掘)			
			t
支保材設置・撤去 1段(2.0m以下)			
			m

仮設工計算書			
名 称	計 算 式	数 量	単位
支保材質料	腹起し材、切梁材、水圧ポンプ	1	式
横矢板設置・撤去			
			m ²
ポンプ運転工			
			日
ポンプ据付・撤去工			
			現場

6. 交 通 誘 導 警 備 員

交通誘導警備員 計算書

[illegible]

7. 運 搬 費

(共 通 仮 設 費 (積 分))

運搬費総括表

[illegible]

運搬費

仮設材等の運搬

仮設材等の積込み取卸し費

間接工事費(積上げ分)計算書

[illegible]

8. 技 術 管 理 費

(共 通 仮 設 費 (積 分))

[illegible]